

平成25年度 第1回 国立大学法人北海道大学経営協議会議事要旨

日 時 平成25年6月12日（水） 14:30～16:30

場 所 事務局 第一会議室A

出席者 21名

（学内） 山口総長，三上，上田，新田，安田，川端，鑄山，村田，吉見，寶金，宇山
各委員

（学外） 毛塚，近藤，數土，林，平山，増山，松谷，山崎，山本，横山 各委員

欠席者 3名

（学内） 嵯峨委員

（学外） 高井，野田 各委員

議 事

総長から，委員の交代及び再任があったことから，委員の紹介があった。

また，議事に先立ち，平成25年3月18日の平成24年度第4回経営協議会の議事要旨について確認を行った。

【 議 題 】

1 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

三上理事から，資料に基づき説明の後，審議の結果了承された。

なお，委員から，教員の業績等の情報については，受験生や父母等が外部から見た際に，北大にどのような魅力的な教員がいるのかが分かるような発信を行うことが非常に重要である旨発言があった。これに対して三上理事から，教員の業績データベースについては，内容の充実と外部への分かりやすい情報発信の視点から現在改善を進めていること，並びに，新田理事から，受験生向けに本学の研究者を紹介する広報誌を作成しており，大学選択の資料として活用されている旨発言があった。

また，委員から，欧米の大学では，教員の研究業績を外部へ発信することと併せて自己評価に活用する仕組みを確立しており，北大においても教員の業績評価システムを活用した自己評価を引き続き実施するとともに，今後はその結果を本経営協議会に報告いただきたい旨発言があった。

2 北海道大学フロンティア基金新渡戸カレッジ（海外留学）奨学金（仮称）の創設について

上田理事から，資料に基づき説明の後，審議の結果了承された。

3 平成26年度概算要求事項について

村田理事から，資料に基づき説明の後，審議の結果了承された。

なお，委員から，食資源に係るグローバルな人材育成を目指す「国際食資源学院構想」については，フロンティア的な取り組みであり，経済界として大いに期待するものであ

る旨発言があった。

また、総長から、文部科学省に要求を行う際には順位を付す必要があるが、これについては一任いただきたい旨発言があり、了承された。

4 平成24年度決算について

米澤監事から、監査結果について報告があった。

引き続き、村田理事から、資料に基づき説明があった後、審議の結果了承された。

【 報告事項等 】

1 産学連携本部の活動状況等について

川端理事から、資料に基づき報告があった。

なお、委員から、産業界や経済界等、関係機関が多数参加する大型プロジェクトについては、従来の経験も踏まえ、これら関係機関との協議の場を設け効果的・効率的に遂行していただきたい旨発言があった。

また、委員から、知的財産権収入・共同研究に関する七大学比較については、件数や金額の単純比較のみではなく分析方法の工夫が必要である旨発言があり、川端理事から、今後は相対的に本学の特長が見えるような分析を行っていききたい旨発言があった。

2 COI（センター・オブ・イノベーション）プログラムについて

川端理事から、資料に基づき報告があった。

3 「北大フロンティア基金」の寄附受入状況等について

鑄山理事から、資料に基づき報告があった。

4 職員の給与について

村田理事から、資料に基づき報告があった。

【 その他 】

その他 公的研究費等の不適切な経理処理に係る調査状況等について

新田理事から、中間報告発表以降の調査状況及び今後の予定について報告があった。

（ 以 上 ）